



【韓国の巨済（コジェ）工業高等学校の海外体験研修による来校】

《目的》

韓国の造船産業マイスター校との交流活動を通じて、グローバルな視点を養うとともに、船舶に関する技術向上への意欲を喚起する。

《実施内容》

韓国の造船産業マイスター校との交流活動

《取組》

- 日 時 平成29年12月12日(火)
- 場 所 今治工業高等学校
- 対 象 機械造船科2年生造船コース22名
- 内 容
 - ・各校校長より挨拶
 - ・今治工業高校機械造船科の紹介
 - ・機械造船科実習棟の見学（プラズマ切断機の実演等）
 - ・今治工業高校生徒による機械造船科の紹介
 - ・巨済工業高校生徒による学校紹介



《生徒の感想・学んだこと》

- ・韓国の工業高校は、同じ造船科でも溶接や電機などをより深く学んでおり韓国の造船業が優れている所かなと思いました。
- ・最先端を走っている国なので、取組も凄いなと思いました。
- ・韓国の高校生の日本語の上手さが印象に残りました。自分は英語もできないのでとても驚きました。
- ・日本語以外の言語の重要性や、色々な言語を学ぶ必要性を感じました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんのコメント》

- ・韓国トップのマイスター校が当校を選んで見学に来たことは、緻密な努力と地域連携の成果である。更なる改善に努め、努力を怠らないことが肝要。
- ・当校生徒のプレゼンは大きな声でよかったが、韓国生徒は全て日本語で発表した。生徒は驚きと歓声で、素直に世界を感じている様子であった。
- ・すぐに韓国の生徒と友人になり楽しく会話する姿に好感持てた。将来が楽しみ。

《成果・今後の課題》

- ・機械造船科として、海外の学校との交流ははじめてであり、生徒は新鮮に感じている様子であった。もっと生徒同士の交流の時間を確保した方がよかったと感じている。生徒同士、すぐに親しく交流しており、国際交流につながる有意義な取組となった。

